



KUMAMOTO

The Weekly Bulletin
GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

**IMAGINE
ROTARY**2022~
2023年度
テーマ

国際ロータリー

「IMAGINE ROTARY」 R.I.会長 ジェニファーE.ジョーンズ

地区方針

「ロータリーは つながりで あふれている」

R.I. 2720 地区 ガバナー 堀川貴史

熊本グリーンRC

「エブリワン・スマイル・グリーンロータリー」

熊本グリーンRC会長 田中慎二

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中慎二 ■幹事：宮部康弘 ■会報担当：山下佳介
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区**熊本グリーンロータリークラブ週報**

第1470回

令和5年2月27日

2022 - 2023 年度 第26回

【例 会】

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは「マスク着用」にて歌唱します。

- ・ロータリーソング「手に手つないで」

1. 閉会・点鐘 18:30**2. 食事と交歓****来訪者紹介 (田中慎二 会長)**

- ・卓話者
地区職業奉仕部門長 木下 修 氏
- ・例会見学
Y.GROUP 代表取締役 斉藤義鷹氏

会長スピーチ (田中慎二 会長)

テーマ:米中偵察気球問題について考える

こんばんは 令和5年2月27日会長の時間となりました。今日の会長時間は、少し前に話題になっていました 中国の偵察気球についてです会長の時間になぜこの話題!!と思われる方もいらっしゃると思いますが、最後までお聞きいただくと、今回私が会長の 時間にこのお話に選んだ

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

理由が分かると思いますので、少しお付き合ってください。

では、中国の偵察気球問題についてです。

問題は今月1日に北米上空で正体不明の気球が発見されたことに始まります。当初アメリカはこの気球は中国の気球で、民間、軍事含め正体不明な気球で発表していました。その後、中国は民間の気象観測用で、誤ってアメリカ領空に入ってしまったと発表します。しかし、アメリカは、この気球は中国の偵察用気球で、許可なく領空を侵犯しており、何らかの偵察行為を行っているとして以降は発表し続けました 以後、対応として2月4日に撃墜し、残骸を回収したとの事件です。

この事件、色々考えることが有ります。偵察などに気球が使えるのか?どんなことを偵察していたのか?などです。

その後の報道で、気球の飛行航路なども公開され、1月24日にアラスカ領空に侵入し、一度カナダに入り、再度アメリカの北西部より領空侵犯、アメリカ全土を横断するように 西海岸まで到達したと

卓 話 予 定

- 3 / 6 会員増強クラブフォーラム
- 3 / 13 「堀川貴史ガバナー公式訪問」 ★終了後「集合写真撮影」
- 3 / 20 「P E T S (会長エレクト研修セミナー)」報告 江上泰弘会長エレクト
- 3 / 27 「観桜例会」18:30 (例会場所変更)

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kgro-rc.com/>

の事。長期にわたり、アメリカ上空に居たことになります。

又、ここで重要なのが、航路上にアメリカの ICBM の基地、空軍基地など軍事上重要施設が多く存在していたところです。単純に偏西風で運ばれるだけなら、こんな航路は飛ばないとの事、完全にコントロールされていたのが分かります。

今後撃墜された機材の解析が進められ、どのような事を偵察していたのかがわかると思いますが、両国の今回の件に対する対応などを考えると、大事なことが出てくるのではないかと推測しています。

今回の気球と同じものがちょくちょく日本領空にも表れているとの事、日本は通過させるだけの対応で良いのでしょうか？

又、今回の事件を語るうえで関連するお話をもう一つ。

実は日本もアメリカ本土に向けて気球を飛ばしていたとの事。

ご存知の方も多いと思われますが、風船爆弾と言う兵器です 戦時中『ふ号兵器』と言う兵器を帝国陸軍が開発しています。材料に和紙とこんにやくを使用して製造した風船に 15kg の通常爆弾と 5kg の焼夷弾 2 発を懸架して生産した兵器、通称風船爆弾を生産、実戦に投入しています。生産はもっぱら学徒動員の中学生だったとの事。

風船爆弾は 戦前より、日本からアメリカ本土まで到達するジェット気流の存在は確認されており、このジェット気流に風船爆弾をのせ、アメリカ本土を爆撃していたとのことです。

この風船爆弾ですが終戦までに 9300 発が放球され、1000 発前後がアメリカに到達したとの事。到達した 1000 発も、上空で撃墜されたり、市街地に墜落し山火事を起こしたりと、目立った戦果は無かったとのことですが、一つだけ人的被害が オレゴン州の山中の木にひ

っかかっていた、風船爆弾の不発弾に触れた、ピクニック中の 民間人 6 名が犠牲になったと記録が有るそうです。

最後に今回なぜこのお話を選んだかと言う所で会長の時間を締めたいと思います。話は私が小学生時代に遡ります。

私が通っていた小学校『熊本市立城山小学校』には、校庭の一部にひまわり畑が有りました。

皆さんもご存知の通り、ひまわりは夏に満開になりまして、秋には種が取れます。城山小学校では、私が就学していた時代、校庭で取れたひまわりの種を、風船につけて飛ばすという行事が年明けに行われていました。

風船 5、6 個に、手紙と、ひまわりの種を数個入れて飛ばしていました。確か 3 年生の中学年以上が 1 つずつ飛ばすというのだったと思いますが、全校生徒 600 名のうち 400 名が飛ばす形になります。この、400 個風船が飛んでいく景色は壮観で、今でもはっきりと覚えています。

飛ばした風船は、その後どうなったかと言いますと、年に 10 件から 20 件拾った方からお手紙で返事が来ていました。

九州圏内がほとんどだったのですが、山口や愛媛辺りからも来ていたと記憶しています。

私が飛ばした風船にも返事がきまして、確か宮崎のお婆さんだと思っていますが、まいた種が育って、20 本ぐらひのひまわりが咲きましたと言う内容だったと思います。きれいに咲いている写真も同封して有ったと記憶しています。

母校で今でも行っているかは不明ですが、いい行事だったと思います。

偵察気球の報道はネガティブ要素が多かったのですが、昔のことを思い出しまして、風船のほっこりした使用法も有るのを紹介したく、会長に時間をいただきました。

皆さんは、こんな思いで有りますでしょうか？

幹事報告 (宮部 康弘 幹事)

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本西南 RC]

・3月9日(木)の例会は、新入会員歓迎例会のため、同日18:30より、ピアレストラン「オーデン」にて行います。サイン受付はありません。

・3月23日(木)の通常例会は、オンライン例会のため、同日12:30よりzoom上にて行います。サイン受付はありません。

[熊本中央 RC]

3月31日(金)の例会は、花見例会のため、同日18:30より、「グリルクドウ」にて行います。

[熊本東 RC]

3月28日(火)の例会は、第45回新世代の為の中学卓球大会とし、同日9:00より熊本市総合体育館にて開会式を行います。

●例会取り止め

次の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サイン受付はありません。

[熊本西南 RC] 3月30日(木)

[熊本中央 RC] 3月24日(金)

出席報告

(西本周平クラブ管理運営 出席担当)

	会 員 総 数	21名	出席率
2月27日	出席免除会員数	0名	61, 90%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	13名	
1月30日	前回の出席会員数	名	休 会
	メイクアップ数	名	
	修正出席会員数	名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

委員会報告

熊本城東 RC 主催「第8回 親子ボート大会」のご案内

報告者:田中慎二会長

日時:3月26日(水)

9:00 受付開始~

15:00 位迄(予定)

場所:江津湖湖畔(江藤ボートハウス)

参加費:1,800円(親子ペア:小学1年~6年生と父・母・祖父母等のペアで参加)

※参加1組につき2名分のお弁当付き

参加締切:3月5日(日)

※希望者はキャンドル作り体験も出来ます。ボート大会は賞品も出ます。

お問い合わせ先:090-8404-2422(谷脇会員)

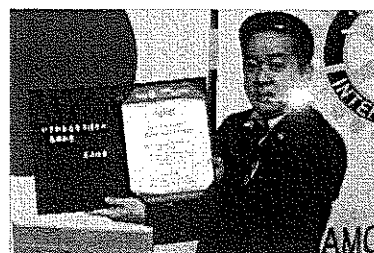


その他の報告

米山奨学会からの感謝状披露について

報告者:田中慎二会長

米山奨学会へ熊本グリーン RC の名前で400万円寄付して頂いた元米山奨学会の黄鴻氏(現在千葉鴻儀氏)へ感謝状が来ておりますので紹介します。



スマイル

(荒木一之 クラブ管理運営 (スマイル担当))

●田中 慎二 君、宮部 康弘 君

「地区職業奉仕部門長の木下様のご来訪心より歓迎致します。本日の出前セミナーよろしくお願ひ致します。」

●河島 一夫 君

「今日は、木下職業奉仕委員会の卓話です。ロータリーの看板の職業奉仕です。皆さんじっくり聞いて下さい。」

●河野 景治 君

「本日は熊本ロータリークラブの木下修様に卓話を頂き、感謝申し上げます。木下様におかれましてパルコ跡の再開発、4月25日オープンに向けて忙しい最中にご来訪頂きました。改めて感謝申し上げます。」

●田中純司君、栗山義則君、田代 武君、西本周平君、山口 翼君

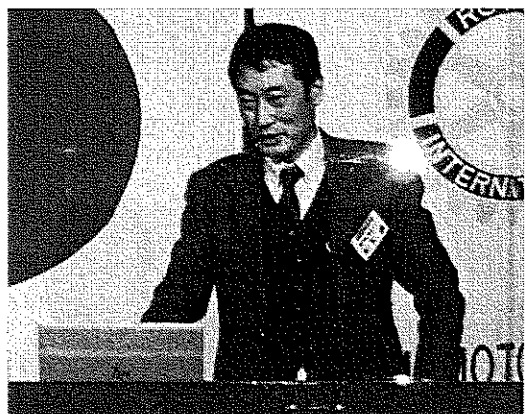
「本日は例会見学に斉藤義鷹様におこし頂いております。どうぞゆっくり楽しまれて下さい。」

3. 例会プログラム

紹介者：河島 一夫 会員

卓話者：地区職業奉仕部門長 木下 修 氏

演 題：「職業奉仕とは」



4. 閉会・点鐘

「ハイライトよねやま」より

「心も美化する」チャリティー奉仕リレー第3弾



募金活動を終えて、全員で記念写真

第3回米山学友による世界大会「再会 東」に向けた、関東10地区学友会による「チャリティー奉仕リレー」。

今回は第3弾として1月17日、国際ロータリー第2820地区米山学友会による募金活動および霞ヶ浦総合公園の清掃活動が開催されました。

当日は6人の米山学友、6人の現役奨学生を含む25人が参加。募金活動では、「貧困に苦しむ日本の子どもたちのための教育支援」を呼び掛け、総額67,000円が集まりました。募金活動後は、土浦市内の霞ヶ浦総合公園にて清掃活動を実施。同学友会の清掃活動は、昨年度に続き、2年連続となりました。

広報担当の崔玉芬（サイギョクフン）さん（2007-08/大洗RC）は、「この活動は、環境を美化するだけでなく、私たちの心も美化される、とても気持ちの良い活動です。この日は米山学友の子どもも参加し、ロータリーの奉仕の精神を次世代に伝える素晴らしい機会になりました」と、奉仕リレーの一日を締めくくりました。

